



株式会社菅原組

社内報

vol. 16

2021年1月号



工事本部 工事部

児玉 翔太



入社のきつかけ

高校が工業高校であったため、専門知識を活かすことのできる職場を探していたところ、先生の紹介により菅原組を知りました。実際の入社面接が会社とファーストコンタクトになったので、かなり緊張をする部分もありましたが、終始和やかな雰囲気非常に良い印象を受けた記憶があります。その場にいってしまった現会長や現社長を含め、笑顔の絶えない面接で、入社前に感じていた不安を取り除くことができました。

業務内容

大まかに言えば、現場における施工管理の仕事としています。お金や安全面も含めた現場の監督業務を担当し、担当している現場が円滑に完成するよう見守り、人員をまとめる役割を担っています。

記憶に残る仕事

現在入社して7年目ですが、入社後1週



▲南茅部草刈り枝打ち



▲南茅部植樹活動



▲ペリーボート競争出番前



▲2020年初めて釣った海アメモス

間で配属された初めての現場は、非常によく覚えています。右も左も分からない状態で、先輩方や下請けの方々のご指導を受けながら、目の前の仕事をこなすことにひたすらがむしゃらに取り組んでいました。ときには優しく、ときには厳しく教えていただき、「とりあえずやってみなさい」という言葉は今でも胸に残っています。誰も知らないことに白紙の状態から取り組むことは、言い換えればその事柄において第一人者になれるという意味でもあるので、新しいことに積極的に挑戦していけという意味です。そこからは、新しい仕事を毛嫌いせず、むしろ率先して取り組んでいく姿勢を意識し続けています。また、誰に言われたかは定かではありませんが、自分の行動や仕事の意味を考えながら働く大切さも教わる機会があり、仕事をする上では意識するよう心がけています。

挫折経験

入社して2年目に東北に配属になったのですが、東北より函館へ戻る最後の年に、現場を一つ持たせてもらいました。しかし、当時の自身の能力を過大評価しており、一人に

なった途端仕事が全然できず挫折を味わいました。函館に戻ってから、新しい業務内容に伴いこれまで何を自分は学んでいたのか自問自答する日々が続いたこともあります。しかし、幾度となく自分の仕事における無力さを痛感しつつもこれまでやってこられたのは、周りの人が優しく支えてくれたからです。さりげない励ましの言葉が日々の後押しになり、頑張ろうという気持ちにさせてくれます。現在では、同じミスは絶対に犯さないよう気をつけながら精進しています。

今後の目標

仕事に取り組むにあたり、元気の良さを一番売りにしているので、今後も絶やさないよう頑張っていきたいと思えます。また、ゆくゆくは自分が苦しいとき周りに支えられたよう、同じように苦しんでいる後輩がいれば支えてあげられる側になれるようになることが目標です。そのためには、まずは自分の仕事をきちんとこなす、邁進していきたいと思っています。そして、個人的目標ではありますが、今年こそ3kg超えのサクラマス釣りたいと思っています(笑)。

部所 紹介

《工事本部》

それぞれの部門で個性を発揮する仲間たち。そこではどんな業務が行われているの？ 自慢できる場所は？ 知っているようで知らない、みなさんの職場の様子を探ってみましょう！

取締役 工事本部長

とみさわ しゅうじ
富澤 修二さんに
聞きました！



主な業務

工事部は工事課と積算課、工務部は重機課と船舶課に分かれています。私個人としては、社長の方針や考えを運営に伝達していくという社長補佐の仕事から、工事部門の運営の統括、利害関係者との調整役、工事部門の購買承認、引き渡し前の最終検査の総括など、幅広く業務を担っています。



▲完成検査前書類検査(若松)

新たな取り組み

生産性向上推進センターを設けてICT関係の整備を行っていることです。もともとは発注者の要望でICT整備を始めました。取り組みを始めてから間もないため、成果が出て発注者の反応を見るにはまだ時間がかかります。

メンバー

工事部 31 名、工務部 28 名 計 59 名



▲施工検討会

手前から反時計回りで富澤本部長、若山部長、小笠原さん、荒瀬さん、長内工事係長、工藤さん、児玉さん、泉工事次長、山田工事主任

部所の自慢

部所の社員が、自分に声をかけやすい雰囲気作りを心がけています。現場を定期的に直接見に行ったときに感じるのは、それぞれがやりがいを持って業務に取り組んでいるということです。また、所課長会議でのそれぞれの担当者の発言からも、現場のモチベーションの高さを感じる機会が多々あります。



▲社内検査現場実測(江良漁港)

皆さんへメッセージ

社長は常に社長室のドアを開放しているような非常にオープンな方ですので、そうした風通しの良い文化を大切につつ、協力しながら業務に当たっていただければと思っています。「海洋土木 北海道ナンバー1」という目標をはじめとして、顧客・社員満足度の向上、安全と健康の確保、省エネ省資源の推進による環境パフォーマンスの向上など、一丸となって取り組んで達成していくべきことが数多くあります。力を合わせつつ、各個人がやりがいをもって業務に取り組んでいくことが大切です。

CHECK! 現場レポート

今回は函館市から受注した『もと美原老人福祉センター解体工事』について、泉さんにお話を伺いました。久しぶりに受注した解体工事。そこには普段とどのような違いがあったのでしょうか？



▲解体養生完了!

- 現場名** もと美原老人福祉センター解体工事
一階建ての825平米の建物。
幅は10.8m×40.5mで高さは約5m。
- 着工日** 令和2年10月29日
- 完成予定日** 令和3年2月5日
- 概要** 建築取り壊し一式・電気設備取り壊し一式・
機械設備取り壊し一式・発生材処理一式



メンバー

いずみひとし
作業所長 泉等さん

作業にあたり気をつけたポイント

函館市からは「工期以内で終わらせるように」と厳命されたため、進捗を日々確認しています。また、自分たちで第一に重視しているのは「地域住民に対して、影響を与えない」こと。事故を起こさないようにするのはもちろん、粉塵・アスベストの飛散が起らないように気をつけながら、工事を進めています。そのために、日々の朝礼で危険事項等を確認しており、今後も継続していきたいと思っています。



▲解体状況

感想

会社として解体工事を受注したのは実に久しぶり。実際、私も初めての経験でした。今までは建設をメインにやってきましたから、その工程を逆再生するようで、新鮮に感じます。一方で、特に難しさを感じてはいません。気をつけるポイント自体は建設とそれほど変わりませんし、何より協力会社の方々が頼もしいの一言。私がいらない部分は対応してくださったり、教えていただいたりしています。今回、初めて協業する企業の方々もいますが、すり合わせを毎日行いつつ、着実に工事を進めています。



▲仮囲い、事務所、現場全景

社員の皆様へのメッセージ

これからさらに寒い日が続くと思います。インフルエンザ・新型コロナウイルスに気をつけながら、頑張りましょう!

CHECK! 現場レポート

あなたの知らないあんな現場やこんな現場!
どんな事例があるのか、このページで要CHECK!



▲防潮堤 施工状況(全景)

現場名 大沢漁港海岸災害復旧
(23災県第679号防潮堤その1) 工事

着工日 令和2年1月10日

完成予定日 令和3年3月15日

概要 防潮堤 施工延長 L=230m (23ブロック)

メンバー

工事部 課長
(兼:大船渡営業所 所長代理) **北畠 哲治さん**

工事部 工事係長 **福原 直樹さん**

工事部 重機係長 **石戸 雅洋さん**

(元請:株式会社 佐藤組、一次下請:菅原組)

作業にあたり気をつけたポイント

海と国道に挟まれた狭い工事現場なので安全面には一層気をつけています。クレーンなど、機械類を使用する際の間隔調整や、メインとなる高所での作業における安全対策など、常に危険と隣合わせの現場なので日々危機意識を持って作業に取り掛かっています。現場の状況把握のためにも、職員に逐一声掛けしてコミュニケーションを取っています。



▲着工前

大変だったこと

協力業者さんと協働で工事を行うなかで、不都合なくスムーズに進めていくことが大変でした。どうしてもお互いに現況の都合があるので上手く回らないこともあります。施工前に確認を行ったり、日々の作業においてこまめに打ち合わせをしたりと、スムーズに作業が進むように工夫をしています。また、今

回の現場はなかなか施工班が見つからず、地元の業者さんとも新規で契約したので、初めて一緒に作業する業者さんとのすり合わせも加わり一層気を張りました(笑)



▲本體工(場所打ち杭)杭頭処理作業

感想

今回の工事は初めての工程や作業が多かったので、現場を担当していた職員の皆さんも大変だったのではないのでしょうか。しかし、大変な作業を通してこそ知識が増え、経験値も上がるので、今後に活かせる経験になれば良いと思います。同じ防潮堤の工事でも作業内容や現場管理の仕方が全然違っていたので、私自身も学びが得られる経験になっています。



▲カルバート工(プレキャストボックス)据付作業

▲胸壁工(場所打ち擁壁)鉄筋組立作業

社員の皆様へのメッセージ

新型コロナウイルスの影響でも大変な側面も多いかと思いますが、皆さんも安全・健康には気をつけてください。完成まで気を引き締めて頑張ってください!

★南茅部植樹活動

こんな活動、知ってた!?! 社会貢献活動レポート

日時 2020年10月24日(土)
参加者 工事部 長内さん、児玉さん
 管理本部 三浦さん、菅原峻さんと
 そのご家族の皆さん

当日のようす

佐藤会長の開会の言葉もかき消されるほど強風が吹く日でした。さらに、気温も低く雨なのか霪^{ひょう}なのか……というものがちらつくという状況。寒かった～。

植樹の際に使うロープや梱包などいろんなものが吹き飛んでしまう中、参加者約20人でそれぞれ手分けして、穴掘り・植樹・支持杭打ち込み・食害防護カバー被せ・控え杭打ち込み・カバー結束という流れをこなしていきました。

普段だと、支持杭打ち込みと穴掘りが大変なのですが、今回は強風であることと、植樹本数のわりに範囲が広がったのでとにかく資材を持って回るのが大変。子どもにも持てるものを任せてもらい一緒に駆け回りました。

終了後、河川公園で昼食。今回もいくらとサケフレークの親子丼、温かいキノコ汁と三平汁で凍えた体を温めてもらいました!毎年ながら本当においしかったです!



感想

菅原 峻さん

木育活動として、木に触れて自然に親しみ、環境の事も考えられるようにと、子どもを連れて参加させていただきましたが、大人と共同で働く事が嬉しかったのと、皆さんたくさん話しかけてくれたのもあり、役に立てた事に喜んでいました。帰りの栗ソフトクリームの時が一番の笑顔でしたが(笑)。大船遺跡内という事もあり、縄文の暮らしにも自然と触れることが出来ました。今回は非常に学びが多い活動でした。ありがとうございます。

三浦さん

当日はものすごい強風でしたが、雨が降らなかったことが幸いでした。風で物が吹き飛びそうになりながらも、大きく育てて自然豊かになるよう、願いを込めて木を植えました。何年も植樹活動に参加されているベテランの方が周りの方に指示をくださったのでスムーズに活動は進み、寒空の下でしたがすぐに活動は終わりました。

お昼には、このために頑張ったと言っても過言ではない「鮭の親子丼、キノコ汁、三平汁」が絶品で、疲れも吹き飛ばす美味しさでした。またこのお昼が食べたいので次回も参加しようかな……と思っています。



▲ おいしいご飯で疲れも吹き飛ばす!

共同作業!
頑張るぞ~!



こんな大きいのだからって
運んじゃうよ!



こんな活動、知ってた!?! 社内活動レポート IMS定期審査

★ マネジメントシステム 定期(移行)審査

日時 2020年12月3日(木)～4日(金)

参加人数 8名
社長、管理責任者(管理本部長、山の手作業所長)、
工事本部長、工事部長、工務部長、
営業部長(環境課長)、安全課長、IMS事務局長

場所 菅原組応接室および山の手作業所現場事務所

当日の流れ 3名の外部審査員が各部所の責任者に対して、
記録やヒアリングにより審査

審査担当
福田審査員 管理本部及び安全課、環境課全般
池田審査員 山の手作業所、管理本部(札幌支店)
志村審査員 工事本部、工事部、工務部



▲記録なども確認しながら審査中



活動を終わっての感想

今回の審査は品質・環境マネジメントシステムの定期審査、労働安全衛生マネジメントシステムの移行審査(OHSAS18001廃止によるISO45001への移行)を同時に行いました。

毎年のことなのですが、外部審査を受けて思うことは、当社マネジメントシステムについて改善することがまだまだたくさんあると気付かされます。その気付きを皆さんと一緒に改善していくことにより企業基礎力の向上につながっていくと思います。

次回に向けて

次回の品質・環境・労働安全衛生マネジメントシステムは更新審査になっており、審査期間も2.5日～3日間と通常より長い審査になります。

今回の審査で気付いた改善すべきことを、関係部所とも打ち合わせをして早い段階で改善し、展開していこうと思っております。皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



▲山の手現場の審査状況



▲山の手作業所の審査状況

HAPPY BIRTHDAY TO YOU!

1月生まれの皆さんをご紹介します。

1/10 工事本部工事部 係長
ふくはら なおき
福原 直樹さん

1/16 工事本部工事部 係長
おさない ひさし
長内 久さん

1/17 大船渡営業所 事務
ささき えりな
佐々木 江利菜さん

1/24 工事本部工務部
第十八すがわら号
くどう こうき
工藤 興起さん